

J-Startup KANSAI リニューアルについて

令和7年6月2日

近畿経済産業局 創業・経営支援課

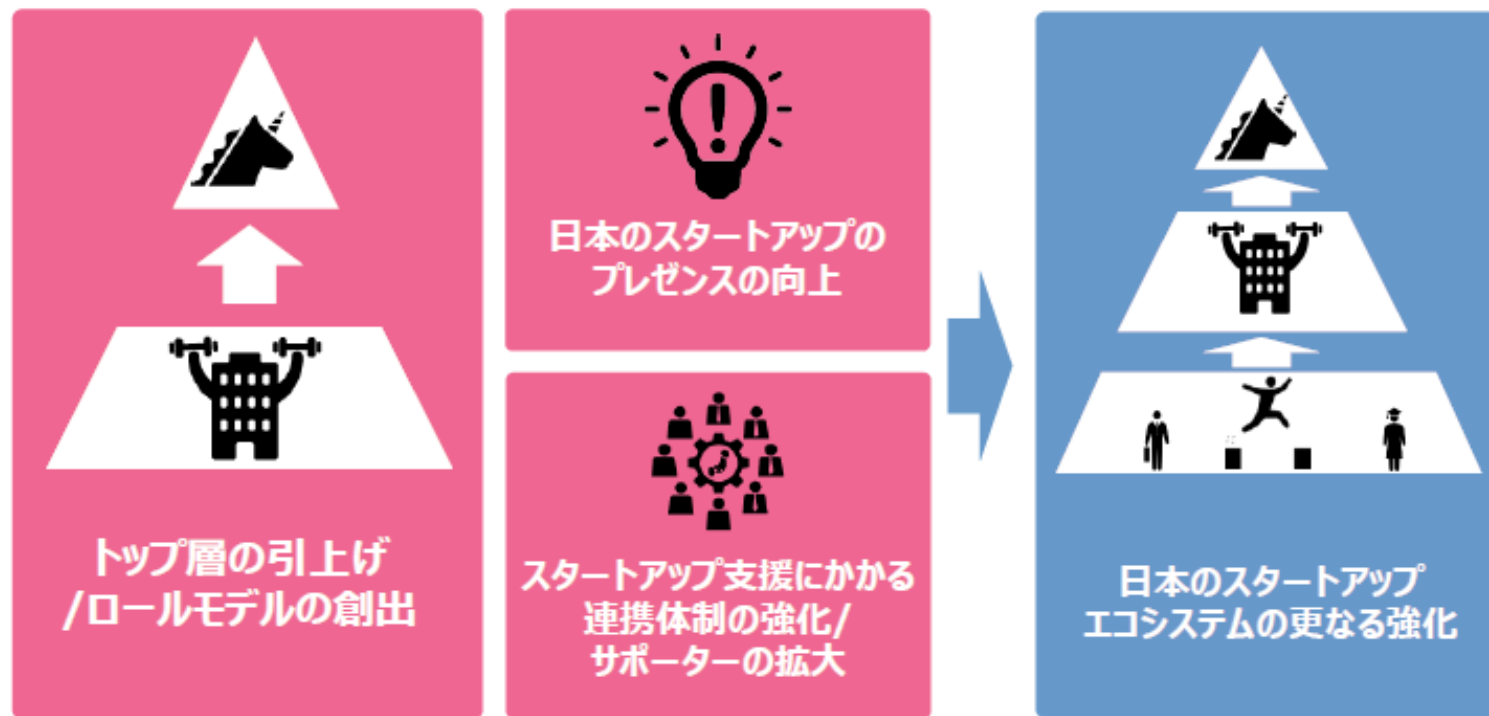
「J-Startup」 プログラムとは

- 日本では約 1 万社のスタートアップがいるが、グローバルに活躍する企業はまだ一部。
- 経済産業省としてスタートアップを選定し、世界で戦えるスタートアップを育成。



J-Startup

2018年6月
「J-Startup」プログラム始動



「J-Startup」ローカルプログラムの展開

- 地域のポテンシャルや特性に応じたスタートアップエコシステムの強化を目的に、「J-Startup」ローカルが展開。

「J-Startup」ローカルの各地域立ち上げの変遷

2020年：J-Startup HOKKAIDO
J-Startup TOHOKU
J-Startup KANSAI

2021年：J-Startup NIIGATA
J-Startup CENTRAL

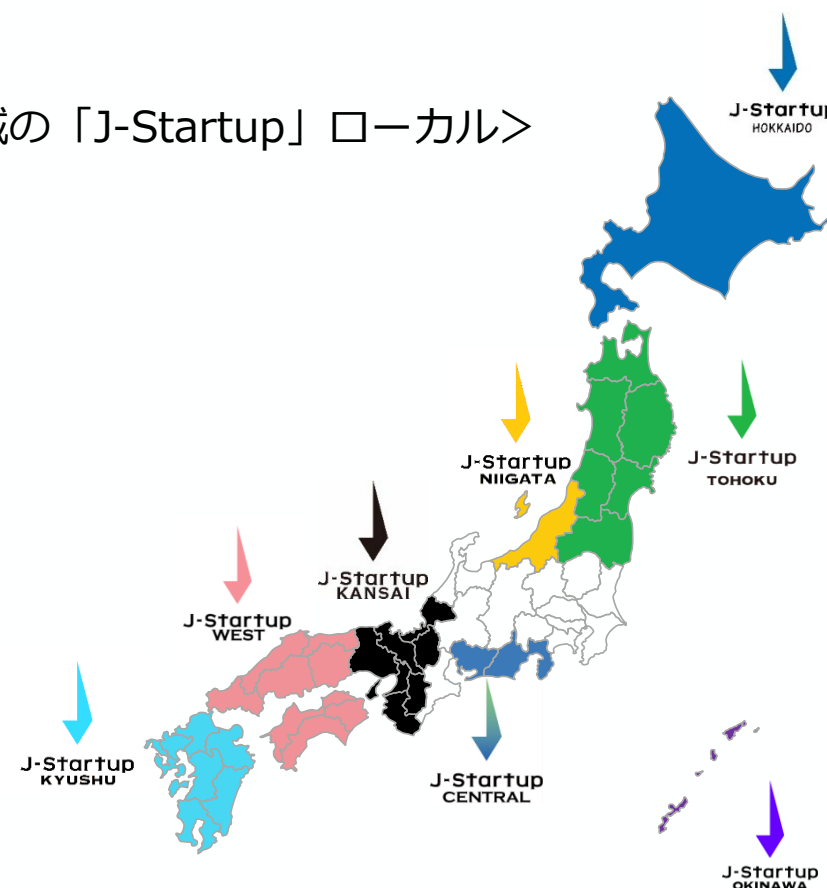
2022年：J-Startup KYUSHU

2023年：J-Startup WEST

2024年：J-Startup OKINAWA

J-Startup
KANSAI

＜各地域の「J-Startup」ローカル＞



「J-Startup KANSAI」 ～スタートアップ支援プログラム「J-Startup」関西版～

- 関西発のロールモデルとなる有望なスタートアップを「J-Startup KANSAI企業」として選定
- 当局が事務局となり選定し、官民連携で選定企業の飛躍をサポート。

目的

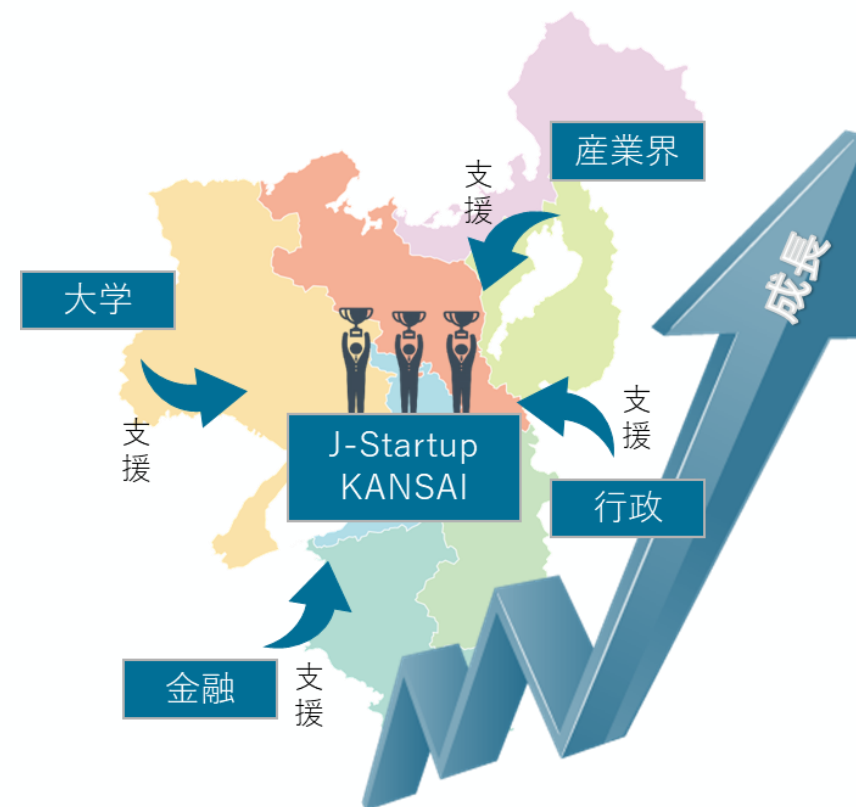
- ① 関西発スタートアップの発掘及び創出
- ② 各地の支援機関との連携体制の強化
- ③ 関西スタートアップエコシステムの認知度向上

事務局

近畿経済産業局

（共同事務局）大阪府、大阪市、堺市、京都府、京都市、
兵庫県、神戸市、JETRO大阪本部、INPIT-KANSAI、中小機構近畿本部

連携



「J-Startup KANSAI」サポート内容

- ・ 選定企業からの相談に対して、事務局が個別に対応。
- ・ 本省J-Startupの支援メニューの活用（J-Startup KANSAI企業も対象へ）

J-StartupKANSAIサポート内容

支援類型	支援内容
ブランディング・PR	特設サイトでの選定企業紹介 イベント登壇機会の提供 インタビュー記事掲載
海外展開	海外・国内イベントへの出展支援 海外ミッションへの参加 海外展開にかかる戦略策定、販売・顧客開拓、マッチング支援
ファイナンス	各種補助金等の支援施策における優遇
マッチング	ビジネスマッチング(大企業、自治体等への個別のつながり)
その他	イベントスペースの提供 実証実験への協力 専門家・ノウハウを持つ人材による個別メンタリング 教材の提供 自社顧客・関係会社等の紹介 各社サービスの優遇

J-Startup 支援メニュー（例）

- 政府調達における入札機会の拡大
入札参加資格の等級に関わらず、すべての政府調達にて入札が可能
各種支援制度の優遇措置
- 各種支援制度の対象
スタートアップ支援資金：対象要件 等
- 各種支援制度の審査時に加点
成長型中小企業等研究開発支援事業：加点 等

J-Startup KANSAIにおける有望スタートアップ

- 社会のあるべき姿の追求やSDGsの達成（社会課題解決）とビジネス成長（経済成長）の両立を目指し、関西から全国・世界へとはばたく有望なスタートアップを選定。
- 企業価値・資金調達金額だけでなく、起業家の多様性（若者、女性等）や関西の強みを発揮できる分野（ソーシャル、ディープテック）の観点で活躍する企業を選出。

J-Startup KANSAIにおける有望スタートアップ（類型）

①ユニコーン（IPO）候補 型

企業価値・資金調達金額・売上高・従業員数等が高い企業

③ソーシャルスタートアップ 型

従来のビジネスでは解決できなかった社会課題の解決に取り組む企業

②起業家の多様性 型

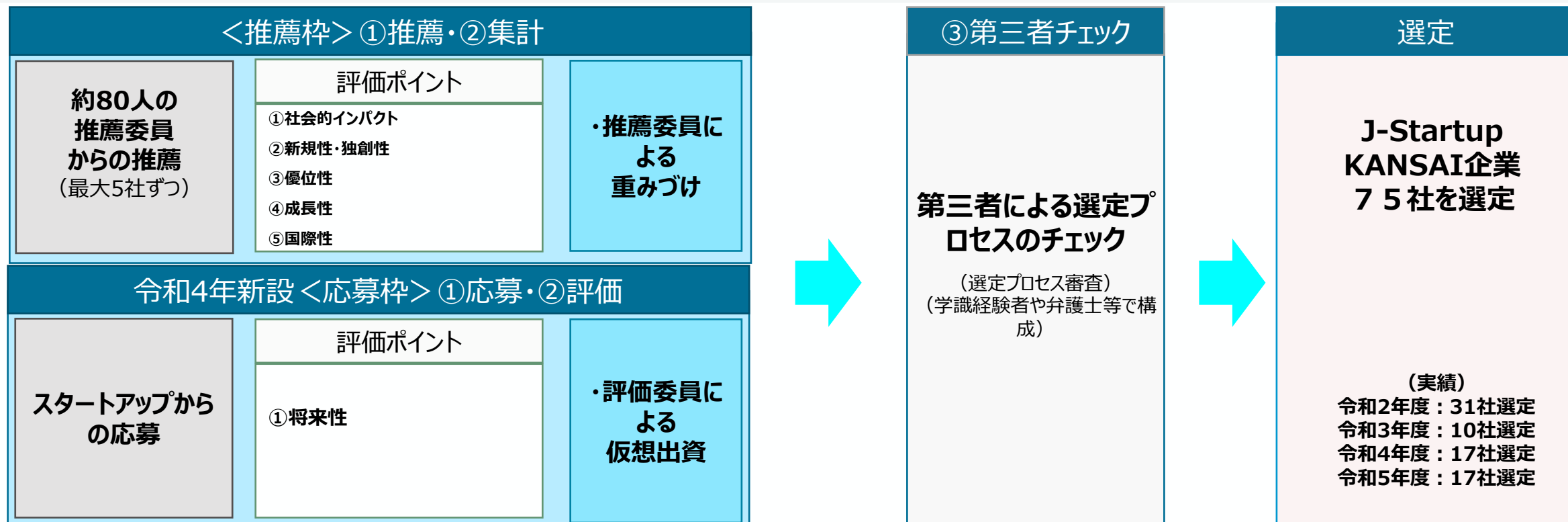
代表が若者、女性、外国人、再チャレンジ、シニア等の企業

④ディープテックスタートアップ 型

地球規模の課題に対して研究成果を活用して解決に取り組む企業

J-Startup KANSAI 選定プロセス（リニューアル前）

- ・ 推薦枠は、地域に根ざし、地元で育てられ・愛されるような企業であり、関西から全国・世界へと羽ばたくスタートアップ企業を推薦委員が最大5社推薦。
- ・ 応募枠は、関西で活動するベンチャーキャピタリスト等を評価委員に指名し、応募のあったスタートアップの投資先としての将来性を仮想出資額で評価。



J-Startup KANSAIのリニューアルについて

- 定期的に選定企業の入れ替えを行う更新制を導入。選定企業数に上限を設けてブランド価値を保ちつつ、追加選定による企業の発掘を目指す。
- 新選定プロセスを導入することで、関西スタートアップ関係者が主体的に関与しつつ、有望スタートアップを選定する仕組みを再構築。

リニューアルのポイント

1. 更新制の導入

- 選定資格期間を設定
- 選定企業の定期的な入れ替え
- 選定企業数に上限を設定

2. 新選定プロセスの導入

- 従来の推薦枠・応募枠を統合
- 候補企業リストの提示
- 推薦委員の刷新

1. 更新制の導入

- プログラムが提供する支援策が拡大する中、選定企業の最新の状況把握や適切な選定企業数の設定が求められているところ。
- 選定企業数に上限を設定し、選定企業のブランド価値を維持。また、定期的な更新により、直近で活躍しているスタートアップを選定。

更新制のポイント

選定資格期間：約4年

- 選定企業は、選定日から約4年後の年度末まで選定資格を持つ。

選定企業数の目安：（段階的に）45社程度

- J-Startupの企業数等を考慮して選定企業数の目安を設定。
- 急激な数の変化を避けるため、段階的に45社となるように更新を行う。

選定頻度：1年に1回（2月頃発表）

- 1年に1回選定を実施（予定）。

選定資格期間満了後について

- 選定資格期間が満了となる年度の追加選定時に、エントリーが可能。再選すれば、資格期間に切れ目のない更新となる。
- J-Startup、J-Startup Impact等に選定された企業は、「J-Startup KANSAI Honorary member」とし、継続してサポートを受けることが可能。

再選について

更新時の追加選定にエントリーが可能

- 対象要件を満たしていれば、追加選定のプロセスにエントリーが可能。
- 選定プロセスを経て再選すれば、資格期間の切れ目無く更新することが可能。

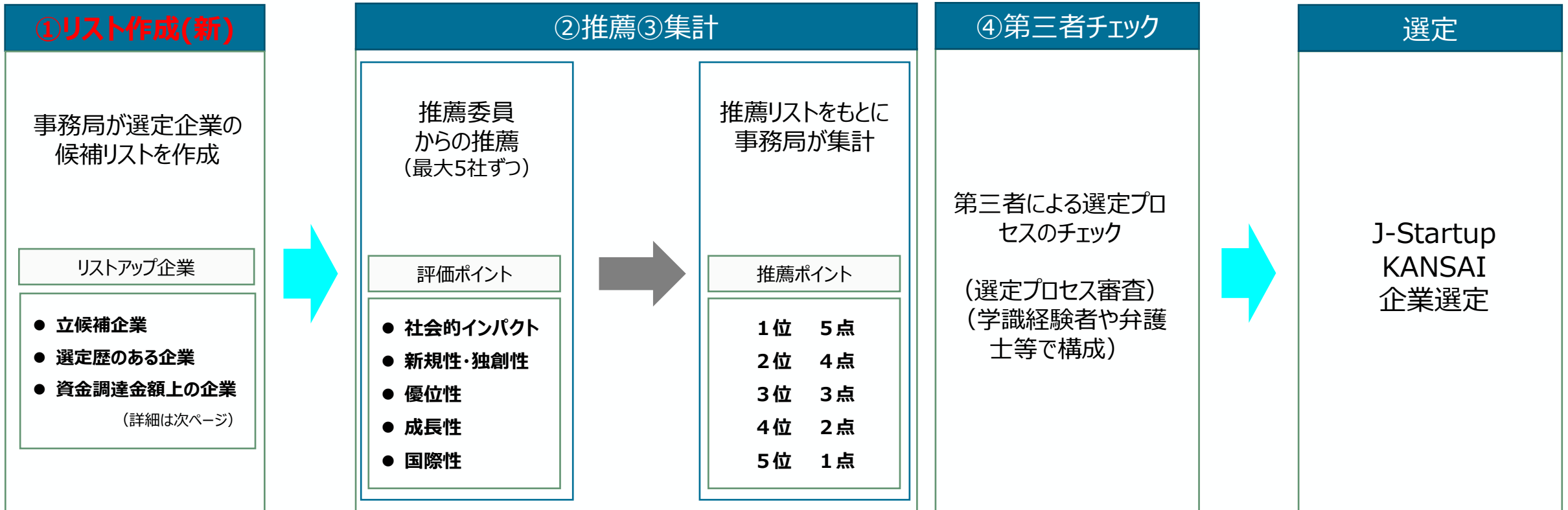
J-Startup KANSAI Honorary member

Honorary member（名誉会員）

- 以下に該当する企業は、資格期間満了後も「J-Startup KANSAI Honorary member」として、サポートを受けることが可能。
 - ・ J-Startup選定企業
 - ・ J-Startup Impact選定企業
 - ・ 東証3市場（グロース・スタンダード・プライム）上場企業
- Honorary memberは選定企業数にカウントしない。

2. 新選定プロセスの導入

- 従来のプロセスでは、対象要件を満たしていない企業への投票や、票の分散が課題。
- そこで、推薦委員が自由に推薦企業を記名投票できたプロセスを、今後は事務局が作成する選定候補リストの中から、推薦委員が推薦するプロセスに変更する。



候補リスト作成

- 有望なスタートアップを選定することを目的に、従来の対象要件を変更。
- 候補企業リストは、主にJ-Startup KANSAI選定歴のある企業や民間データベースにおける資金調達実績上位の企業をもとに作成予定であるが、選定意欲の高い企業も追加するために公募を予定。

対象要件

以下の要件全てに当てはまる企業

- ① 関西地域に本社を有する企業
※関西地域：福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
※複数エリアに本社が存在する場合は、関西地域に本社機能が存在
- ② VC・事業会社からの出資による資金調達実績のある企業
- ③ 東京証券取引所の3市場（グロース・スタンダード・プライム）未上場企業
- ④ 各種J-Startupプログラムの未選定企業
※選定歴があっても、更新時期or応募時に選定資格がなければ対象

リストアップ企業

以下をもとに候補リストを作成。

- ① 立候補企業
- ② J-Startup KANSAI選定歴のある企業
- ③ 資金調達金額上位企業
（事務局がデータベースを基に10社程度を選出予定）

(参考) 選定企業の対象要件の変更点

従来の対象要件	変更点
新規ビジネス開始後、概ね10年以内の企業 ■ 起業後に限らず、事業承継後、ピボット（方針転換）後も含む	削除
関西地域に本社を有する企業 ■ 関西地域：福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山 ■ 複数のエリアに本社が存在する場合は、1つでも関西地域に本社機能が存在すれば推薦対象	
概ねアーリー ～ ミドルステージの企業 ■ プロダクト又はサービスを市場に提供している企業（ただし、ディープテックを除く）	VC・事業会社からの出資による資金調達実績のある企業に修正
将来的な成長が期待できる企業 ■ 目安は5年以内に売上10億円超（ディープテック型は10年以内）	削除
未上場であること	東京証券取引所の3市場（グロース・スタンダード・プライム）未上場企業 に修正
「J-Startup」「J-Startup KANSAI」に選定されていないこと	各種J-Startupプログラムの未選定企業に修正



経済産業省
近畿経済産業局